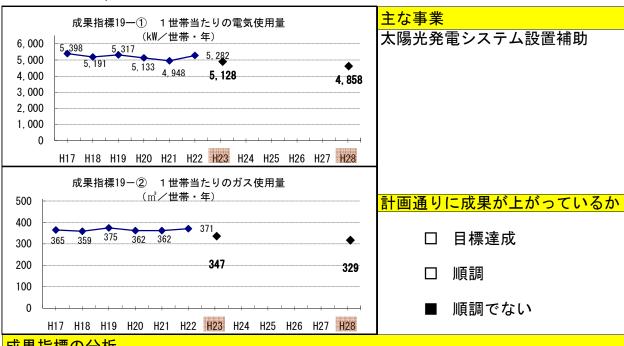
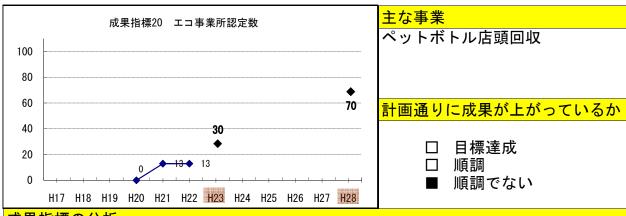
柱	4 共通基盤
分野	K 地球
ビジョン	自分達の手でライフスタイルを見直し、 きれいな地球を守る



## 成果指標の分析

電気使用量及びガス使用量いずれも前年度より増加し、順調ではない。 2 1 年度はリーマンショックの景気悪化の影響を受け減少したものであり、景気回復 により数値が上昇した。



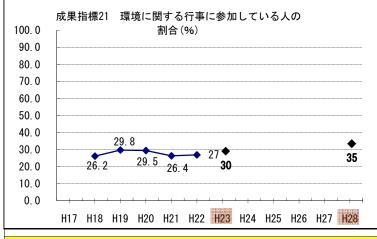
## 成果指標の分析

エコ事業所は、現時点では、ペットボトル店頭回収協力店舗(事業所)としたが、13店 舗(事業所)であり、成果指標に対しては順調ではない。(この指標では、他の事項でエ コ事業所を捕捉することが困難となっている。)

## 成果が向上する余地(可能性)は? 大 中 小 成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

エネルギー消費は景気や気温に影響することが大きい。これらについては、省エネ機 器や太陽光発電システムの設置の促進を行なう。

柱	4 共通基盤
分野	L 環境学習・人づくり
ビジョン	学・思・行 相まって、未来につなげる人づくり



<mark>主な事業 東海市エコスクール</mark>

計画通りに成果が上がっているか

- □ 目標達成
- □ 順調
- 順調でない

## 成果指標の分析

前年度と比較してもほぼ横ばいの推移となっているため、成果としては順調ではない。 行事の内容としては、地域の清掃が一番多くなっている。

成果が向上する余地(可能性)は?

□大■中□小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

昨年度と同様に、東海市エコスクールで様々は講座を提供していく。

エコスクールの運営も今まで参加したことがない人が参加できるようなイベントや興味がある人には深く学んでもらえる講座など、めりはりをつけた運営を検討していく。